

## これで自分の一生は終わった

89歳 男性

事故に遭い脳裏をよぎった思いです。

大正生まれの私はもうすぐ90歳。

自分の健康管理は、なるべく自分で出来るように気をつけています。

朝はラジオ体操をして、また、週1回のマッサージにはバスで行くように努力しています。

横断歩道を必ず渡り、また、時間にゆとりを持って行動するように心掛けています。

今回の事故で、私みたいな歩行者が、どんなに気をつけていても運転手の不注意で事故に遭うことを痛切に感じました。

一命を取り止めることができ、また、大きな怪我もしなかったことに、私はもちろん、家族もホッとしています。

信号機の問題もあるでしょう。

車社会の中で、子どもや老人が事故に遭うことがない社会を強く求めます。

事故後、毎日、クリニックへの通院が日課となっています。

家族からの要望としては、事故発生から3時間程過ぎて、本人からの連絡で知りました。

事故の大きさにかかわらず、家族への連絡は直ぐにする、そんな思いやりが欲しいものです。

